

玩具調査に關する研究報告

大津幼稚園

玩具に就て

玩具の小兒保育上に必要なるは今更云ふ迄もなし、されども其何の爲めに必要なるかを仔細に留意するもの、少きは寔に歎す可きことなりとす。本園こゝに見るあり夙に其代表的玩具を蒐集して一般父兄諸君の參考に資せんと欲するもの久かりき、然れ共未だ之が調査研究に着手するの機を得ざりしも、今秋園兒の春期以來の推移狀態を調査するにさり頗る感ずる所あり、之が研究は一日も忽せにすべからざるを覺り、試に其時代に適應し心理的、生理的、倫理的、要素を根據として左表の如く其代表的玩具を選択したり。勿論此は匆卒の調査物にて研究上の原議に屬す可きものなるを以て未だ満足すべき研究的調査を了せるものにあらざるが故に極めて粗漫柱選なるものたれども亦聊か意を須むたるの節なきにあらず。讀者幸に是正の勞を惜むなからんことを望む、本園亦今後漸次微力を此研究に致して其完成を圖らんことを期せんとす

于時

大津幼稚園にて

明治四十一年十一月十三日

調査主任者 識

<p>發育上着眼スベキ諸點</p> <p>二週ノ後ヨリ凝視作用アリ 五週ニ至レバ兩眼連合シテ左右轉視 スルコトヲ得。</p>	<p>保育上注意スベキ諸點</p> <p>横臥セシムル場所ハ餘リ變セザルヲ 可トス。 光線ヲ背後ヨリ採ルベキ様ニスルヲ</p>	<p>代表的玩具ノ一二</p> <p>球、赤色。 静カナル色ヲ撰ビ、兒ノ向ヘル少 シ上ノ所ニツル。</p>
--	---	---

代時臥横一第期兒嬰

七八週ニ至レバ本能的ニ我手ヲ見ル
十乃十週以上ヨリ觸覺ノ上ニ於テ現
表ス四週以上ヨリ觸覺ノ上ニ於テ現
ハルハ記憶ノ交動ノ想像ヲ働カス。
六七週ヨリ交動ノ想像ヲ働カス。
十一週ヨリ衝動的運動ヲ試ミル
ル。本期ニ至リ始メ衝動的運動ヲ試ミル
ノ作用價カニ起リ始ム。
本週ニ至リテ光ニ近キ色體ヲ見ルモ
眼ハ上下ニ轉スルヲ得(約一メートル
左右之ニ次グ。
甚クシキ光ハ兒體ニ害アリ。
頭蓋骨未ダ動ク且其含經ニ充分ナル
ヲ以テ横臥ノ位就枕ニツイテ注意ヲ
要ス。
身體ノ各部ニ自由ヲ取ラシメ、近視等
十一週ノ片外物ノ爲メ眇、近視等
ニ陥ラシムルコトアリ。
二三ヶ月ニ於テ首骨ヲ完全ニ保ッ
コトヲ得。
寫キ受寒等ノ爲叱逆ヲ出スコトアリ

可トス。
追視作用ヲ左右ニ練習セシムルト。
直接ニ烈シク外氣ニ觸レシメザル様
ニスベキコト。
體温ニ適セシムル爲メニ室ノ溫度ヲ
加減スルコト。
徐々ニ物ノ音ナドニ近ヅクルコト。
接觸セシムベキ物體ハ單純平易ナル
モノタルベキコト。

上下ニ動ク様ニ彈力紐ヲ用ユ。
右左ニ動カシ得ル様ニスルコト。
風車ノモノガヨイ、時ニ置場所ヲ
大形ノモノガヨイ、時ニ置場所ヲ
換ユルガヨイ。
風船
大小ニツル、空氣ニツル靜ニ動ク様
ニ追視セシメ得ル様ニスルコト。
風鈴
二追視セシメ得ル様ニスルコト。
枕頭ニツルス、靜ニ鳴ルモノ。
ガラガラ。
靜カナル彩色ニテ脆弱ナラヌモノ
一、眼、耳、次テ筋肉練習ヲ目
的トス。
注意
二、妖麗の色彩ハ避クルヲ可
トス。
三、顔料ニ注意ヲ要ス。

二第期兒嬰

發育上着眼スベキ諸點
觸覺ト運動トノ力ヲ得テ始メテ物體
ヲ知ル。
女兒ハ男兒ニ比シ物ニ對スル理解力
發達ス。
物ニ對スル認識作用稍長ズ。
總テ意識作用ハ經驗ナキコトハ應用
スル働ナシ。
有意筋肉覺ノ發展ヲ見ル。
連合作用ヲ筋肉覺ニ於テ働スカ。
音ノ方向及調子ヲ区分クル迄ニ至ル
受動的想像稍發展ス。
目的ヲ定メテ意識ヲ運ラスアリ。

保育上注意スベキ諸點
手ニスルモ危險ナラザル構造ノモノ
ヲ撰ブコト。
色彩及構造等余リ複雑ナラザルモノ
ヲ可トス。
色彩顔料ニ最モ注意ヲ要スル時期ト
ス。
一物ノ彩色數種ニ涉リ復雜ナルモノ
ハ採ラズ。
口ニ入ルゝモ害ナキモノタルベキコ
ト。
消毒ノ爲メニ破損セザルモノタルベ
キコト。

代表的玩具ノ一二
ゴム人形。
大ナルモノヲ可トスレバ兒手ニ握
リ能ハザルガ如キハ不可ナリ。
豆太鼓。
豆ノ代ハリニゴムヲ用ユ。
犬。
木綿製輕キモノヲ可トス。
小鈴。
用法種々アルベシ。
ネアリコ。
木製ヲ可トス。母ノ乳房大チ可ト

代時旬旬

赤黄ノ如キ烈シキ刺撃ヲ與フル色體
ノタメ非常ノ快感ヲ起シ著シク身體
發育ニ影響ヲ來シテ代謝的運動トニ
齒牙發生ヲ促スト代謝的運動トニ
リテ著シク垂涎ヲ盛シナラシム。
此時期ノ始メヨリ何物モヨラズ口ニ
持チ行ク筋肉運動ヲ見ル。
感情ノ如何ニ依リ體温ニ變化ヲ來ス
ゴトイテ、シシルキ時代。
彈力性運動ヲ筋肉ニ起ス。
握テ骨ハ軟カナルヲ以テ挫折スルコ
ト少キモ曲リ易シ又脱臼シ易シ
注意 此時期ヨリシテ男女兒ノ心
的發育ノ状態漸次其差ヲ増ス。

發育上着眼スベキ諸點

思想作用不完全ナガラ、働キハジム。
知的發育稍盛ントナル、隨ツテ求知心
發動ス。
小部分ノ類似點ヲ總括シテ判斷ヲ誤
リ易シ。
怒リニ於テ特ニ激情性ヲ起ス。(烈シ
ク短ク)ニ於テ體ニ對スル慾望漸ク盛ン
ナリ。
共同心稍發達スルモ廣ク働カスヲ得
ズ。
意識運動漸次盛ントナル。
著シク音ノ快球ヲ知ル。
同情心ガ動物ニ對シ稍起ル。
此期ニ於テ諸關節稍強クナル。
吹ク力ヲ出シ得。
平等ニ筋肉ノ練習ヲナサシムベシ、動
モスレバ一部分ノ發達ニ偏シテ全體
ヲ衰ヘシムルコトアリ。
聽器ノ發育盛ニナリテ音ノ嗜好ヲ知
ル。一物ヲ持ツニモ兩手ヲ同一ニ働カス

自己ガ若干ノ力ヲ加ヘテ音ヲ發セシ
ムルガ如キ玩具ヲ撰ブベキコト。

保育上注意スベキ諸點

玩具ハ複雜ナラザルモ幾分力自己ノ
關係ヲ働カスノ必要ナルモノヲ選ブ
ベキコト。
烈シキ吹力ヲ要セザルモノ次テ稍強
キヲ要スレモノヲ與フベシ。
自己ガ加ヘシ力ノ結果ガ直接ニ知リ
得ラルルモノヲ選ブベシ。
危險ナル場所ニ遊バシムルコト。
時々鳴禽ノ美音ヲ聞カシムルハ可ナ
ルベシ。
餘リ多クノ玩具ヲ一時ニ與フルハ可
ナラズ。
餘リニ音聲練習ニ骨折リスルノ必要
ヲ認メズ。

刀。
餘リ長キバ却ツテ危險ナリゴム製
ヲ可トス。
啼犬。
木綿製留入ノモノ。
注意

一、此時代ヨリ漸次、自己ノ力ヲ
玩具ニ加ヘテ音又ハ運動ヲ起ス
モノヲ撰ブ可トス。
二、耳、目、筋肉覺及其聯合作用ノ
練習ニ供スベキモノヲ撰ブベシ。
三、齒牙發生期ニハネアリコト與
フベシ。

代表的玩具ノ一二

馬。布製車ノ付キアルモノ。紐ヲツ
ケル。
猿。木綿製。
ラツパ。木製。
動物。殊ニ禽類ノ實物又ハ標本類。
面筒。
太鼓。
旗。米搗キ車。

後以テ時響動發立起語言生發牙齒第三期兒嬰

<p>時々甚ダシキ強弱ヲ起スコトアリ、 是レ齒牙發生ノ爲メ意識作用ノ爲メ、 過食ノ爲メ等ノコトヨリシテ起ル、 注意ヲ要ス。此時代ニ於テハ特ニ母親ノ 温情擁育ヲ絶體ニ要求セリ。</p>

- 一、 傾斜色彩ニ對スル特別ノ注意ヲ要ス。
- 二、 玩具ノ消毒ハ其物ニ適當シテ熱氣消毒、日光消毒等ヲ怠ルテ許サズ。
- 三、 磁力細工ノ玩具、陶磁器硝子製等ハ概シテ危險ニシテ且脆弱ナリ避クルヲ可トス。
- 四、 玩具ノ種類ハ多キヲ望マズ。

○ 幼兒期用玩具取扱ニ關スル一般の注意

- 一、 季節ニヨリテ與フル玩具ヲ選定スルノ要アリ。
- 二、 同種類ノ玩具ニテモ坐席用ノモノト戶外用ノモノト男性的ノモノト女性的ノモノ等ノ別アラシ。
- 三、 うつむきノ遊ビハ概シテ此時代ノ者ニハ適セザルモノ多シ。
- 四、 衣服帶袴等ノ緊束ヲ否認ス。
- 五、 規則的習慣ヲ養成スルニ必要ナル基礎的時代ヨリ玩具ノ取扱ハモ特ニ注意ヲ要ス。
- 六、 玩具使用ノ注意
玩具ハ其兒ニ適應シテ之ヲ選アベシトノ意味ヲ單ニ其嗜好ニ任カスベシトナスモノアレハ是レ嚙口危險ナリトス、宜シク其兒ノ性情習癖等ノ上ヨリ見、其反面的玩具ヲ用キテ誘導スベキ場合多カルベシ、換言スレバ玩具ハ滋養食トシテ用キル場合ヨリモ醫藥的用料トシテ用キル場合多カルベシ云々。
- 七、 玩具ノ使用
1、 菓子 澤ビ方及食后ノ跡始末(齒牙愛護ノ習慣ヲ得シムル爲メニ) 2、 錢ヲ與フルハ特ニ其場合ヲ考フルノ必要アルベク、又其始末方ニ就テモ大ニ考慮ヲ要スベキモノアラシ。

<p>幼 兒 第 一 期</p> <p>有意のニ音楽ヲ好ム。 戯曲の本能最盛トナル。 恐怖ノ念ヲ起サシムルノ誤リ多キ時 具體的觀念作用アリ。 感情的ニ受ケシ記憶ハ比較的持續ス 自動的ノ想像盛ナル。 自誇的ニ怒リヲ表ハスノ時代ナリ。 關節ハ漸ク發育セルモ尙脫白シ易シ</p>	<p>發育上着眼スベキ諸點</p>	<p>大人ノ所持スルモノヲ好ム之ガ模型 的ノモノヲ授ケルハ可ナラン。 發音ヲ害スルガ如キ樂器ノ類ヲ與ヘ ザルヲ可トス。 恐レテ抱クモノハ近ツケス理解スル ヲ待ツコト。 複雑又ハ實際ニ遠キ繪畫ハ與ヘザル ヲ可トス。 簡便明瞭ナル繪畫ヲ與フルノ要アリ 口口ニ干渉多カラザルヲ望ム。</p>	<p>保育上注意スベキ諸點</p>	<p>代表 的 玩 具 ノ 二 三</p> <p>サイベル。危險ナラザルモノ。 動物ノ繪畫。 稍大ナルモノニシテ彩色ノ全キモ 春駒。但竹馬ハ排斥ス。 猿スベリ。 不倒翁。大ナルモノ。 風鈴獨樂。手ニテ心易ク廻ハルモノ 大將人形。各種。</p>
--	-------------------	--	-------------------	---

上以年三

整帶機完全トナリ發育ヲ練習スベキ時代。模似的作用ノ活力盛トナルモ一部分ニ因リ平等ニ諸器官ノ發達不平均ヲ來スコトアリ。此時代ニ於テハ身體ノ過勞ハ消化器ノ作用ヲ十分ナラシメザル恐レアリ。些ノ炭酸瓦斯ノ爲メニ氣管ヲ損スルコトアリ。言語ノ發達模似的ニ上達スルノ時代

發育上着眼スベキ諸點

上以年四期兒幼

自動的想像盛ニシテ殊ニ女兒ハ著シキ發展ヲ見ル。思想用ニ伴ヒ判斷力確カニナル。忍耐力稍起ル。物体ヨリ性質ニ及ンテ聯合作用發展ス。物体ノ醜美ハ之ヲ認識スル作用アレ共美ト善トチ同一視スルコト多シ。共同心漸次發展ス。推理作用ハ以前ヨリ發作スレモ此期ニ於テ著シク發展ス。氣管アシトテ衣服ヲ緊束シ過ギテ爲メニ呼吸循環等ヲ妨グルコト往々アリ。諸器官ニ時々休息ヲ與フルノ必要アル時代。幾分カ勞力的ノ活動ヲナサシメ體力ヲ増サシムルノ要アル時代。皮膚ノ弱キタメニ發疹ヲ起シ又風邪皮膚病等ニ犯サレ易シ。此時代ニ於テハ未ダ背柱ノ軟キタメニ屈曲シ易シ。門齒ニ續キ諸齒ヲ痛ムルコト甚ダシキ時代。

保育上注意スベキ諸點

模擬想像等ノ心力漸次發揚スルニ伴ヒ家母ノ縫裁等ヲ見習ヒ坐席作業ニ耽リテ知ラズノ戶外遊戯ヲ忍緒ムベキ家母ハ却ツテ之ヲ喜ブ風アリ。日光浴及外氣呼吸ハ此時代ヨリシテ漸次其切ナルヲ認ム。

運動ニ害ナキ襟帶束ニ注意スベキコト。和服ニテモ紐ヲ用ケルコト可ナラン。自分ノコトハ自己ニセシムルノ習慣ヲ漸次ニ養フベシ。勝ハ難キ位ノモノヲ持タシメテ活力ヲ強大ナラシムルコト必要ナリ。一物ヲナシ遂ジムルノ習慣ヲ養成スルノ必要アル時代。簡單ナルモノヨリ入ルハ勿論ナリ。時々靜止的ニ極メテ精神ノ安靜ヲ圖ルハシ。戶外ハ力ニテ之ヲ利用シ遊バシムベシ。殊ニ自然ニ遊接セシムルハ必要ナリ。

植物栽培ノ手付等

代表的玩具ノ二三

積木。一箱ナスモノ單ナル型ヲナス。一歩ヲ進ンテハ此時代ノ兒童ガ滿足スル大サト。若干勞ヲ覺ユル重アルモノヲ可トス。風船。フットボール。自分ノ吹力ニテ出來得ルモノ。粘土。付屬品一式。不倒翁。毛人形。吹雪筒。吹雪筒。上ニ向ツテ吹ク片ハ中ヨリ風船等ノ出ヅルモノ。電話遊。小兒用鞆、勛等ノ類(植物栽培)

幼 兒 五 年 以 上 小 學 入 学 迄

此時代ヨリ物事ニ對スル觀念確カナリ。感情ハ總テニ者シク發展スルヲ見ル。隨ツテ之ニヨリテ意志ヲ左右スルノ觀リニ陥ルコト往々アリ。リ。力盛ニトナル。親察力亦強クナルヲ見ル。計慮力漸次發暢ス。道徳的觀念亦確實ニ發暢ス。注意力未ダ強キ迄ニハ至ラザルモ幾分此力ヲ保タシメテ注意スルヲ得。代分規律アル運動ヲナシテ喜ブノ時代。指先ヲ細カニ働カスコトヲ得。總テ諸器官ノ活動盛ニシテ發汗著シクナル呼吸ノ速度ニヨリ烈靜ノ運動ヲ自分ヲ司ドルニ至ル。手足ノ伸縮自在ナル。遊戲又ハ他ノ作業ノ爲メニ胸部壓迫ヲ受クルモ感興ニ驅ラレ知ラズ。胸園ノ發育ヲ妨グルコトアリ。漸ク新陳代謝ノ旺盛ナル時代ナリ。

發育上着眼スベキ諸點

物體ノ構造ヲ自分ニテ理解セントスルノ念漸ク發暢シ來ルガ故ニ玩具等ハ其意ヲ用キルヲ要ス。歴史畫史談畫等ニ近ツケルコト可ナリ。體育的遊戲ニ近ヅク可キ時代。玩具ハ工夫ヲ加ヘテ體ヲ動かカスガ如キモノヲ選ブベキ要アリ。苦心シレバ必ず成功ノ巧ナルコトヲ自覺セシムルニ適スル時代。體育的姿勢ニ注意スルヲ要ス。深ク衛生ヲ守ラシムルコトノ素養ヲ養成スベシ。持續的思念ヲ養成スベキコト。規律的習慣養成ノ爲メニ母親ノ最も苦心ヲ要スル時代。身體活動則運動又ハ郊外遊戲等ノ獎勵ヲ要スル時代。

保育上注意スベキ諸點

木獨樂。心棒ニ注意スベシ。玉コロガシ。繪本。扇。ボール。家庭遊ノ玩具。繩飛。網引。彈力球。組立人形。小禽飼育。

代表的玩具ノ二三

右は特に大津幼稚園の寄稿に係るものなり。研究の着實にして然も深刻なるが上に調査主任者の抱懐せる保育思想が吾人の主張する新幼兒教育法と期せずして一致する所あるが如く覺えて痛快を感ず。吾人は此研究の早く完成して斯界に貢獻するの日の一日も早からんことを祈る（湘陽生）